

生物資源産業学部自己点検・評価

徳島大学では、FD活動の一つとして、学生による授業評価アンケートを実施しており、学生の意見を授業へフィードバックすることによる教育方法の改善や、学部・学科の自己点検・評価に活用している。

本学部でも、今年度の前期に行った授業評価アンケート結果を集計したが、本学部には比較できる過去のデータが存在しないため、平成28年9月27日付け「教育の成果・効果を検証するためのアンケート調査報告書」において公表された、平成27年度工学部生物工学科の授業評価アンケート結果を比較対象とし、本学部の自己点検・評価を行った。

【授業評価アンケート結果の考察】

□評価できる点

今回比較対象としたアンケート集計結果を別紙に示す。本学部の平成28年度前期の授業評価アンケート結果は、ほとんどの項目で、昨年度の工学部生物工学科のアンケート結果を上回っており、特に、「授業の分量」、「授業のレベル」、「授業の進度」、「授業環境」においては、生物工学科が前期・後期を通じて3点台であるのに対し、本学部では4点台を獲得している。このことから、全体として高い評価を得られており、特に基礎的な部分から段階的に学習レベルを引き上げていくような、学生の学力に配慮した授業構成や、授業進行の細かな配慮ができていたと推認される。学生からも、「後半の機器分析が最初は理解できず苦しんだが、授業が終わる頃には最初よりはかなり理解できるようになった。」というコメントがあった。

□今後の課題と対策

一方で、「学生への応対」、「シラバス利用」については、生物工学科の評価を下回っていた。「学生への応対」については、本学部は1年生しかいないため、学生は多くの教養教育科目を受講しており、学部自体の授業が相対的に少なく、授業において、教員が学生に應對する機会が少なかったこと等も原因の一つと考えられる。

「シラバス利用」については、授業1回目の冒頭で、シラバスの内容を十分に説明することで周知を徹底する等が、教員からの改善案として出されている。

また、今回比較対象とした両方のアンケートにおいて、「自主的な学習時間」や「予習・復習」の項目が最も低い結果となった。これは他学部においても共通していることであり、全学共通の課題と言える。

本学部では、8人程度のグループでクラス担任（教授又は准教授）を設け、面談による教育・生活指導を行っている他、学生自身の学修過程や学修成果（成績単位取得表、レポート、履修プログラムとチェックシート、科目の達成度評価表等）をまとめる「ラ

「ラーニング・ポートフォリオ」を導入することで、自身の習熟度確認を促す取り組みを行っており、今後、これらの取り組みによる成果が期待される。

【総括】

平成28年度前期における本学部の教育活動は、概ね良好であったと判断できるが、一部に課題も残っている。今後は、学生に評価されている事項をさらに発展させるとともに、今回のアンケートで判明した課題を解決するための改善策を学部として検討し、教職員間で情報共有していくことが重要である。

授業評価アンケート結果の比較

設問内容	生物工学 (H27年度)		生物資源 (H28年度)	評価値の差	
	前期 (a)	後期 (b)	前期 (c)	(c)-(a)	(c)-(b)
授業の目的	3.70	3.81	—		
シラバスの明示	—	—	3.84		
授業の分量	3.60	3.71	4.20	0.60	0.49
授業のレベル	3.56	3.65	4.19	0.63	0.54
内容への興味	3.66	3.83	3.85	0.19	0.02
今後役立つか	3.91	4.01	4.07	0.16	0.06
教員の熱意	3.79	3.87	3.97	0.18	0.10
説明の仕方	3.59	3.73	3.68	0.09	-0.05
授業の進度	3.60	3.74	4.12	0.52	0.38
聞き取れたか	3.77	3.91	3.81	0.04	-0.10
板書の字や図	3.63	3.78	3.77	0.14	-0.01
教科書や教材	3.71	3.78	3.95	0.24	0.17
学生への応対	3.49	3.64	3.34	-0.15	-0.30
授業環境	3.72	3.76	4.04	0.32	0.28
シラバス利用	3.18	3.31	2.83	-0.35	-0.48
講義目的	3.52	3.59	—		
目的の理解	—	—	3.41		
授業に集中	3.95	3.99	—		
授業への出席	—	—	3.96		
予習、復習	2.99	2.99	—		
自主的な学習時間	—	—	2.65		
教員とのコミュニケーション	—	—	3.12		
内容の理解	3.47	3.51	3.59	0.12	0.08
総合評価	3.62	3.73	3.79	0.17	0.06

※ 「—」 となっている設問内容は、当該年度に設問されていないことを示す。